

深堀小・駒場小の ノーマリー教室を終えて

深堀小学校の3年生の授業の一環として、1月22日23日の両日、自主ノーマリー教室が行われました。深堀小学校の自主ノーマリー教室は、「点字」、「車椅子」、「手話」の学習で構成されており、いずれも外部講師が担当しています。「点字」と「車椅子」は昨年12月に終了し、私は「手話」を担当させていただきました。近隣の小学校2校からの依頼を受けて行うこの授業は、今年度で3年目になる取組です。子どもたちから毎年感動をもらえる素晴らしい取組になっています。このような、外部講師の実体験による学びの場を計画している深堀小学校や駒場小学校の先生方に心からの敬意を表します。駒場小学校は1月28日に4年生のクラスで実施しました。



深堀小学校3年1組の授業風景

3年目になりますので、授業は、内容やコンテンツも少しずつ改善しております。聴覚障がい者が困ることを想起させるための資料は、本校の児童生徒に聞いた「当事者の声」をまとめた資料に加え、様々な動画を切り取って使用しています。今年は、1年目のものとは全く異なるものを使い、よりわかりやすくしています。また、説明するスライドに使用する動画に加え、東京都の高校生（大塚ろうと都立高校）が出演して作成した、今年初めて日本で開催される「デフリンピックの広報動画」も入れ、子どもたちがQRコードでくり返し何度も見られるようにしました。（函館聾学校 YouTube チャンネル限定配信）さらに、今年は3回行った授業が毎回進化していきました。それは、何より本校のボランティアバンクの皆さんのおかげだったと思います。授業が1度終わる度に、感想や意見を聞いて、子どもたちがきこえない人の気持ちを想像するために場面を限定し、イラストを使って想起しやすいようにしていきました。そして何より、昨年度までの課題であった手話や指文字の練習は、時間を増やすことはできませんでしたが、できる限り個別対応にできたことで、子どもたちが自信をもって手話や指文字ができたと言える時間になりました。このことはとても大きな成果だったと考えています。子どもたちの感想をみてもよくわかりました。御協力いただいたボランティア（授業では「ボラバン先生」と呼びました。）の皆さんに感謝いたします。

何より、子どもたちがキラキラした目で笑顔になった姿に出会えたこと、その場でできるようになる嬉しさを子どもと一緒に感じられたことが素晴らしかったですね。本当にありがとうございました。



深堀小学校3年2組の授業風景



児童がくれたウェルカムプレゼント

うれしかったよ！

この取組は次のように多くの意味をもっていると考えています。

- 1 地域の力を結集したボランティアバンクの皆さんが力を貸してくださって聾学校の取組を推進できたこと。
- 2 地域に生活する同年代の子どもたちが聴覚障がいについて理解を深め、手話や指文字を体験し「もっとやってみたい」「もっと覚えたい」と思ってくれたこと。
- 3 そして、本校がこの取組を通じて地域から求められていることに応えられたこと。

これらのことは、本校が取り組んでいるコミュニティ・スクール（CS）の中の「地域学校協働活動」の2つの側面である「地域と学校の連携による取組」と「学校が地域に貢献する取組」に直接つながっており、本校が目指している「地域とつながり、集い、愛される聾学校」につながっていくと考えています。

「函館聾学校ボランティアバンク」の登録者は、本日現在、51名になりました。

今後とも、函館聾学校の教育活動に皆様の御理解と御支援をいただきますようお願い申し上げます。



駒場小学校4年生の授業風景

はこだて し りつ ふか ほり しょうがっこう ねん せい
函館市立深堀 小 学校 3 年生

じ しゆ きようしつ ちようかくしょう
自主ノーマリー 教室【聴 覚 障 がい】について

- 1 日 時 令和 7 年 1 月 2 2 日（水） 10：35～12：10（1 組）
令和 7 年 1 月 2 3 日（木） 10：35～12：10（2 組・チャレンジ）
（3 校 時 10:35 ～ 11:20、4 校 時 10:25 ～ 12:10）

- 2 対 象 3 年生のみなさん

- 3 函館聾学校の児童生徒が深堀 小 学校の皆さんに伝えたいこと

【小学部 A さん】

- ①ゆっくり大きな声で話してほしいです。
②周りが話しているとき、後ろからの声が聞こえないです。肩を叩いてから話してくれ
るとわかりやすいです。
③補聴器の電池が無くなったらすぐ聞こえなくなっちゃうから、取り替えることに時
間がかかる時があります。
④聾学校では手話を使いながら深堀 小 学校と同じ勉強をしています。
みなさんも簡単な手話を覚えてほしいなと思います。

【小学部 B さん】

- 補聴器にはたくさんの種類があるよ。
- 人と話すときに、相手の言っていることが聞き取れなくて、「もう一回お願いします。」
と言うのですが、あまり言い過ぎると相手をイラつかせてしまいます。相手をイラつ
かせたくないの、あまり聞こえなくても聞こえているふりをすることがあります。

【中学部 C さん】

- 障がい者の中にもそれぞれ違った悩みがあります。口話が苦手で手話しか使えない人
や、手話が苦手で口話じゃないと意思疎通できない人もいます。

（※口話とは・・・音声を使って口で話すこと。）

- 人工内耳や補聴器を付けていても、放送やアナウンス、テレビの音が聞こえにくく、
字幕などがないとわかりにくいです。

（※人工内耳とは・・・病院で行う治療で、手術をして頭に電極を入れ、脳に直接

でん き しんごう おく き し く き かい
電気信号を送って聞く仕組みや機械のこと。)

- 耳が聞こえにくいことを理由に心配したり馬鹿にしたりせず、友達のように話し掛けてくれると嬉しいです。

【中学部 D さん】

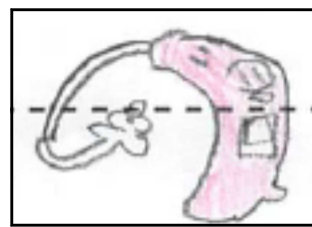
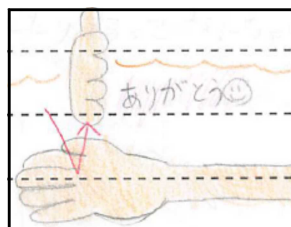
- 補聴器をしていると周りから不思議な目で見られることが多く、自分も周りを気にしてしまうことがあります。
- 買い物をするときに、店員さんとのコミュニケーション（お話し）が難しいです。
（初めてのひとと話すと、声が小さかったり、早口だったりすると、聞き取れないため聞き取れないことが多いです。）
- 話をしているときに、聞き取れなくて「もう一度お願いします。」というと呆れた顔をされたことがあります。（悪口を言われたこともありました。）
- 耳の障がいのことを知らない人もいます。（バカにされることもありました。）
- マスクをしていると口が見えなくて、口、表情、顔の動きが分からずに聞き取りが難しくなります。
- 補聴器をはせずと全く聞こえない人もいます。（補聴器をはずして聴こえる人もいます。）
- 聞こえないからといって、大きな声を出せばいいわけではないことがあります。
（早口ではなく、声の高さなどに注意して、ゆっくりと、ちょっと大きな声で表情を付けて話してくれるとわかりやすいです。）
- 1 番いいのは手話を使って話してくればわかりやすいです。口話と手話を使ってもらえるとわかりやすいです。（耳がきこえる人でも手話があれば便利だとも思いますよ。）
- たくさんの人が集まっているときやゲームセンターなど、雑音の中で、話されても全く聞き取れません。
- 場所によっては、放送の声が聞きにくいところもあります。
- 耳が聞こえない人は、それぞれ聞き取りやすい音や聞き取りにくい音が違います。
- 発音がおかしくなることもあります。（びっくりされることもありました。）
（「さ」なのか「た」なのかあいまいな発音になり、うまく発音できずに伝わらないことがありました。私は、サ行、タ行の発音が苦手です。）
- 人それぞれ聴こえ方が違います。
- 耳が聴こえないから全てできないというわけではないです。
- 将来ろうの人でも働きやすい（過ごしやすい）環境を広げて行きたいので協力してほしいです。

自主ノーマリー教室の感想

【深堀小学校3年生の皆さんの感想】 ※抜粋

- 耳が聞こえない人には人それぞれのなやみがあるのを知りませんでした。ほちょうきがなければまったく聞こえない人もいたので、大きな声でゆっくり耳の聞こえない人と話す時はわかりやすく話したいと思います。もう何も見ないで自こしょうかいができるようになりました。もっと手話ができるようになりたいです。
- 指文字は少しむずかしいのもありましたが、自分の名前ができるようになりました。できてとても楽しかったです。これからは耳が不自由な人がこまっていたりしたら、耳が聞こえないからといってさべつせずに親切にしてあげたいと思います。
- 手話はむずかしかったけど、楽しかったです。ほかに手話のことや指文字のことをもっともっと知りたいと思います。これから耳が聞こえない人がいたらたすけていきたいです。
- 手話をつかったらなんでもつたわると思っていただけでしたが、手話がわかる人とわからない人もいるのがわかりました。
- デフリンピックで話していることがわかるようにべんきょうをしたいと思いました。近くに耳が聞こえない人がいたらマスクを外して表じょうがわかりやすいようにはなしかけるようにしようと思いました。
- これから耳が聞こえない人たちのために手話を使ってやさしく話しかけたいと思いました。ポラバン先生にも手話を教えてもらってすごく感謝しています。自分の名前を手話で表すのもできるようになってうれしかったです。ポラバン先生がわからない手話を教えてくれたので、ちゃんと手話をおぼえることができました。
- デフリンピックのはなしをきいたときは、きょうぎにボーリングがあることを知ってびっくりしました。またゆびもじで自分の名前ができたりあいさつができたりすると、とってもうれしかったです。全員教えたかたがうまくてすごいなと思いました。
- わたしは耳が聞こえない子たちがすごくつらい思いをしていることを知ると、かわいそうな気持ちと気のどくな気持ちがあふれました。そして自分が今、聞こえているのが普通ではないことをしりました。耳が聞こえない人やほかのしょうがいをもつ人たちにもやさしい社会になるといいなと思っています。

- ぼくは手話がとても楽しかったです。理由は自分の名前が手話でできると、なんかワクワクしちゃいました。みんなの前でやるのはきんちょうしたけど、楽しくてやらせていただきありがとうございました。
- 1番気になった言葉は人口内耳です。「オペ」って聞いたので、耳の聞こえない人はそういう苦労もするんだと思いかわいそうと思いました。それに聞こえないからってさべつされるのもかわいそうだし大変だなと思ってかわいそうで悲しくなりました。差別のない世界になってほしいです。差別のない世界をのぞんでいます。
- 特にみりよくがすごかったのは、デフリンピックです。オリンピックにはないきょうぎがともあったので、ぼくも一度やってみたいなあと思いました。ポラバン先生の人たちもとても優しくてよかったです。まだどこかで会えたら「こんにちわ！」と元気よくあいさつします。
- 手話をもっともっと頑張っておぼえて、たくさんろうの人と話したくなりました。私はふくしにまつわるしごとをしたかったので、今回の手話きょうしつは本当にべんきょうになりました。まいにちやってもあきません。すごくおもしろかったです。そして「手話だけでは話せない人もいるのではないか」「そのときはどうすればいいのか」などぎもんに思っていたのですが、今回でスッキリしました。「口話やひつだんで」というのが「あっそうか～」となっとくしました。それから、もっと聞きたくなるようなワクワク楽しい話でした。耳が聞こえない人の気持ちを考えるのがむずかしかったです。

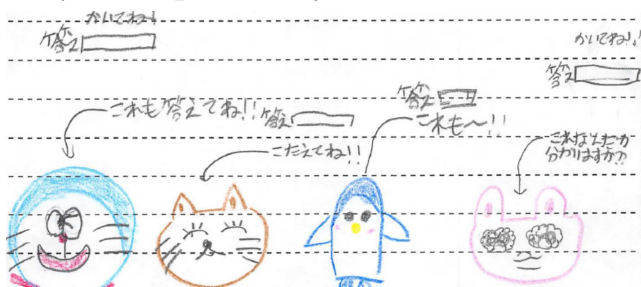


【駒場小学校4年生の皆さんの感想】 ※抜粋

- この前の授業で下のことを学びました。
 - 補聴器をつけていても聞こえないことがある。
 - 手話だけだと通じないことがある。
 - 耳の不自由な子と話ときは、手話と口もつけてひょうじょうもつけて話す。
- などです。私が函館聾学校の皆さんからの手

紙で、1番心に残った文は、「友達みたいにせ
っしてほしい。」という文です。

- 手話をやってみて、少しずつ覚えるのも楽しかったです。マスクをつけていたら伝わらないことも知ったので、手話をするときにはマスクをつけずにやってみたいと思います。
- 手話をやってみて、これからもっと手話をおぼえたいです。手話を守りきってくれた高橋潔さんのおかげで、手話が今でもあるのだと思います。聾学校の子もたちががんばって理解しようとしているはず。伝わらなくてもがんばって最後まで伝えてあげてください。私はおうえんしています。
- 僕は指文字が最初からあるものだと思っていましたが、本当は高橋さんと大曽根さんが作ったことを初めて知りました。
- 手話や指文字をもっと勉強したいと思いました。かんたんな手話から勉強していずれむずかしい手話をできるようにになりたいです。校長先生もボラバン先生もわかりやすかったし楽しかったしおもしろかったです。はくしゅのしかたもふつうとはちがってびっくりしたけど、よく考えたら校長先生が教えてくれたはくしゅの方がわかりやすいと思いました。難聴の方は補聴器があると完全に聞こえていると思っていました。
- 教えてもらったことで、耳が不自由な人の大変さがよくわかりました。これからはもっと手話をできるようになって聾学校の生徒さんと話してみたいです。私の習い事の友達が補聴器をつけているんです。教えてもらったことを生かして、もっとはっきりしゃべってあげたり、前はよく後ろからしゃべりかけていたので、前からしゃべりかけたいと思いました。難聴についてもよくわかりました。
- 僕は耳の聞こえない人は補聴器や人工内耳をつけても前からじゃないと声が聞こえないことを初めて知りました。
- ぼくは手話や人工内耳などいろいろなことを初めて知りました。難聴の人や聾の人に会うことがあるなら、先生方がいっていたことを心がけてみようと思いました。



- 補聴器や人工内耳をつけても、普通の人と聞こえ方が違うことや後ろから話しかけても気づかないことを初めて知りました。
- わたしは指文字を教えてくださいましたので家族にひろうしました！家族はすごいと言ってくれました！！これはもんま先生のおかげです！！ほかにもボラバン先生の補助のおかげでもあります。今では自分の名前と好きな食べ物と好きなスポーツはよゆうでいえます。ほかにも、こんにちは、おはよう、こんばんはもおぼえました。まえは手話と指文字はいっしょのことだと思っていました。でもノーマリー教室をうけたらちがうこともわかりました。私は手話をやってみてとてもむずかしかったです。私は耳が聞こえているかから聞こえていない人に優しくして聞こえている私がリードする！！と考えました。



- 耳が聞こえない人がつけているものを補聴器ということを知り、いつでもしらべられるようになりました。
- 昔、保育園に耳の聞こえない子が聾学校から見学に来て、楽しくいっしょに遊びたいと思いましたが、手話や身ぶりがわからず、先生に聞こうとしましたが、気をつかわせると思って、がっかりしないかと思い、話したい内容が気づくと出てこなくなっていました・・・わすれていた気持ちを校長先生と会い、かんたんな手話を教わり、思い出しました。ありがとうございます。手話をもっとしたいです。そして手話を教えてもらって本当に楽しいです。校長先生のように困っていて耳の聞こえない人がまわりにいたら、手話で助けてあげられる人になりたいです。また会いたいです。なんちょうや指文字、手話のことをもっとしらべてみます。きちょうな時間をありがとうございました。



※イラストは駒場小学校の皆さんが描いてくれたものです。

ボランティア（ボラバン先生）の感想

※感想は深堀小・駒場小の授業が終わった後にいただいたものです。ありがとうございました。

- 先日は授業に参加させていただきありがとうございました。自分ではない相手の立場に立ち、思いやりの心をもって何ができるか考えようとする深堀小の子どもたちが、素直な心でたくさん考えてくれた素敵な授業だったなあと思います。自己紹介練習タイムでは「年」「好き」「ラーメン」などの手話を表現すると、とても喜んでくれ、もっと知りたいという気持ちが伝わりました。私は手話はマイノリティーの人だけのものではなく、語学であり、文化だと思って勉強を続けていますが、今回、子どもたちが手話に触れ、興味をもつお手伝いができて、とてもうれしいです。またこのような機会がありましたら、ぜひ参加したいです。
- この度は深堀小ノーマリー教室に参加させて頂きありがとうございました。学校授業の貴重な時間を使って児童と一緒に手話（指文字）やろう者について学ぶ授業を体験できたことはとても良い経験となりました。中でも、児童と一緒に授業が進んでいき児童の様子が明るく自身を持ち変わっていく姿を見てとても感動しました。今後、また機会があれば今回の経験を活かし、更に楽しく授業のお手伝いがしたいと思っています。今回はとても良い経験させて頂き本当にありがとうございました。お礼と感謝を申し上げます。
- 3年生の皆さんは、門真校長先生が手話について分かりやすく興味を持ってもらうため、先生は笑顔で一人ひとりの顔を見ながら褒めたり優しい眼差しだったりフレンドリーにされていました。手話を始める前のお話は子供達は食い入るように良く話を聞いてました。昔なら聾について、違った目で偏見をもつ子もいましたが3年生の子供達はスムーズに受け入れ、良い子達でした。自分の名前を指文字で表現出来た時の喜びが本当に嬉しそうでした。そんな顔を見ている私もとても嬉しかったです。帰りに二人の受け持ったお子さんが駆け寄ってきてくれ、嬉しそうに「ありがとうございました。」と握手しに来てくれました。大きくなったら人に優しい大人になってくれること間違い無いでしょう。そんな子供達にありがとう。
- 2日間、深堀小三年生のクラスの児童と触れ合うことができ、とても楽しい時間でした。私は2日間共、男子児童で言葉数も少なくとても前に出て表現出来るような感じではありませんでした。しかし、1人の子が最後に前に出て自己紹介してる姿を見て感動しました。（勇気出してくれた事にも感動！）でも前に出て発表出来なくても一生懸命指文字を覚えて自分の名前が表現出来て、少し嬉しい顔が見ただけで充分に嬉しかったです。本当に子供達は素直で大好きです。校長先生貴重なお時間をありがとうございました。
- 参加させていただいて、純粋に楽しかったです。最近の子ども達は様々なものからの悪い影響を受けて、「素直ではない・荒れている」というイメージだったので、一生懸命手話に取り組む姿を見て素直に嬉しかったです。
- 逆向きに覚えていた指文字をすぐに直して発表する姿に、指文字への興味や順応性を感じました。児童全員での手話の拍手が何度も起きて、教室が温かな空間だったと思います。深堀小学校の先生のご協力も大きく、素直で可愛い児童さんと有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- 素敵だなと思った手話を学び始めて、そこから今、子どもたちと触れ合う機会をもらえて感謝でいっぱいです。我が子はもう高校生と中学生ですから、小学3年生とかかわれたことが何より嬉しいです。一生懸命に私の指文字を見て素直に受け止めて覚えて笑顔で披露して、なんて可愛いんだろうと思いました。同時に、自分の子ども達も小学生の時こんなに小さな手だったのかな、忘れちゃったなと、うるうるしました。聴覚障がいについてもっと多くの人に理解してもらいたいという大きな志が私に無いわけではないですが、みんな手話で会話できるのは当たり前になると良いと思うので、ノーマリー教室はもっとあって良いと思います。素晴らしい時間をありがとうございました。明日も楽しみです！
- 子どもたちは、明るく元気で、手話と指文字の勉強を真剣に取り組んでくれました。どの児童さんも素直で、すぐに挨拶の手話と、指文字で自分の名前を覚えてくれた事には驚きと共に、感動しました。その姿は、キラキラした瞳をしており、とても可愛らしかったのを忘れません。今回のボランティア活動では、貴重な経験をさせていただきました。改めまして、心より感謝申し上げます。
- 小学校でのノーマリー教室には初めて参加しました。自分が手話を教える立場になったことはこれまでありませんでしたが、子供達が一生懸命に学んでいる姿を見て、改めて学ぶ姿勢の大切さを感じました。分からないことを積極的に質問する等、子供達からの学びが多かったこともボランティアに参加して良かったことの一つです。短い時間ではありましたが、貴重な体験だったと感じています。今回このような場を設けて下さった方々に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。